

平成22年度 事業報告書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

本年度は、会員の現状及び今後における新たなニーズに沿って事業を改めて見直し、第9次船員災害防止基本計画(平成20年度～24年度)に基づく平成22年度船員災害防止実施計画を踏まえながら、次の事業を実施して、船舶所有者、船員及び関係者の安全衛生意識を高め、船員災害防止対策を推進することにより協会活動の活性化を図った。

1. 船員労働安全衛生月間行事の推進。
2. 安全衛生資料の作成、船員災害防止協会優良会員認定及び機関誌、ホームページによる情報提供
3. 船内労働安全衛生マネジメントシステム/リスクアセスメントの普及並びに安全衛生講習会、生存対策講習会及び訪船等による安全衛生技術指導並びに教育。
4. 海中転落防止対策、生活習慣病の予防に伴うメタボリックシンドローム対策、石綿(アスベスト)による健康障害予防対策と船員健康管理手帳制度及び睡眠時無呼吸症候群対策の促進。
5. 船舶衛生管理者登録講習・船舶衛生管理者講習(B)・タンカー安全担当者講習会、危険物等取扱責任者更新講習及び酸素欠乏予防についての登録危険作業の資格取得講習、並びに船舶料理士登録試験。
6. 安全衛生状況の実態調査及び集計・分析。
7. 安全衛生教育普及資料の頒布及び外部からの受託事業。

本部事業

* 総代会、理事会の開催

(1) 第107回理事会(平成22年5月20日)

議題 会員及び在籍船員数の承認

平成21年度事業報告、収入・支出決算の承認

平成22年度事業計画、収入・支出予算(案)の承認

平成22年度通常総代会に提出する議案の承認

(2) 平成22年度通常総代会(平成22年5月20日)

議題 会員及び在籍船員数の承認

平成21年度事業報告、収入・支出決算の承認

平成22年度事業計画、収入・支出予算(案)の承認

(3) 第108回理事会（平成22年10月22日）

議題 会員及び在籍船員数の承認

平成22年度上半期事業報告

平成23年度（財）日本海事センター補助事業（案）について

平成23年度国庫補助金概算要求額（厚生労働省）について

(4) 商船・漁船合同専門委員会の開催

第1回 5月13日、東京にて開催した。（参加者16人）

第2回 10月15日、東京にて開催した。（参加者15人）

I. 船員労働安全衛生月間の推進事業

1. 月間活動

(1) 平成22年度(第54回)船員労働安全衛生月間関係資料の作成配布（国庫補助事業）

安全衛生に関する標語及び体験記・意見の懸賞募集を行い、これらの入選作品による標語ビラ等を次のとおり作成し、関係官庁、海運・水産各社、関係団体、各支部・地区支部等関係先に配布した。

標語ビラ（変型B5判、和文白ヌキ4種1組）	14,000組
標語ビラ（変型B5判、英文2種1組）	2,900組
ポスター（B2判4色刷及びA2判4色刷）	16,600枚
実施のしおり（A4判）	14,900部
リーフレット（3種）	15,000枚
ステッカー	3,000枚

(2) 「標語」、「体験記・意見」、「ポスター」選考委員会及び「実施のしおり」編集委員会開催

7月6日、応募により集まった安全衛生に関する「標語」及び「体験記・意見」の作品について選考委員会を行い入賞作品の選考を行った。

「標語」… 優秀賞(スローガン用)1点、優秀賞6点、佳作5点

「体験記・意見」… 佳作1編

7月6日、「実施のしおり」の編集委員会を開催した。

2. 船員災害防止大会

(1) 船員労働安全衛生功績者の表彰

船員の安全の確保または船内衛生の向上に尽力し、その功績が極めて顕著な会員、団体並びに会員に所属する船舶及び個人を船員災害防止大会等において表彰した。

- 会員賞・優良賞 3社 : 中部支部：日動海運株式会社
九州支部：芙蓉海運株式会社
九州支部：マリックスライン株式会社
- 個人賞・功労賞 3人 : 東北支部 1人、中部支部 1人、中国支部 1人
- 個人賞・功績賞 3人 : 北海道支部 1人、関東支部 1人、九州支部 1人

(2) 船員災害防止大会への参加

支部及び地区支部において開催される船員災害防止大会に、本部からも要請等により下記のように参加し、安全衛生意識の高揚に努めた。

- 8月26日 北海道支部釧路大会 … 常務理事
8月27日 中部支部敦賀大会 … 専務理事
9月2日 沖縄支部那覇大会 … 専務理事
9月3日 中国支部広島大会 … 専務理事
9月7日 東北支部塩釜大会 … 専務理事
9月9日 九州支部鹿児島大会 … 常務理事
9月10日 関東支部横浜大会 … 常務理事

II. 広報（機関誌及びホームページ）事業

1. 季刊機関誌「船員と災害防止」の発行（(財)日本海事センター補助事業）

春季号(第431号) 8,000部、夏季号(第432号) 7,850部、秋季号(第433号) 7,850部、冬季号(第434号) 7,800部を発行した。

2. ホームページによる船員災害、船員行政ニュース、関係法令改正内容等の情報の提供を逐次行った。

3. 安全衛生教育資料の作成

「船でつくる四季のメニュー（あなたの健康をまもるために）」の充実

前年度より検討を行ってきた、生活習慣病、メタボリックシンドロームの抑制対策の一環として船内の食生活の改善のため、船内の調理作業従事者が利用できるように、栄養管理への配慮がなされたメニューについて、「からだにやさしい健康レシピ（生活習慣病・メタボ対策）」として製本化した。

4. 船員災害防止協会優良会員の認定

前年度においてゼロ災害に努力し、当協会の災害防止活動に積極的な会員を、単年度ごとに「優良会員」として認定して事業所数及び運航船舶数（日本籍船）に対応する枚数のステッカーを配布することにより、その努力と成果を明示するもので、優良会員認定要領に基づき運用・推進している。全国で82社の会員に優良会員認定証を発行し、優良会員証（ステッカー）1,128枚を配布した。

Ⅲ. 安全衛生教育及び技術指導事業

1. 船内労働安全衛生マネジメントシステム/リスクアセスメントの普及

陸上では、平成18年4月の労働安全衛生法の改正に伴い、統括安全衛生管理者には、リスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステム又はこれに準ずるシステムの業務が義務付けられている。

第9次船員災害防止基本計画においても、リスクアセスメントや船内労働安全衛生マネジメントシステムの導入・普及が推奨されていることにより、災害防止の一層の成果を目指して、リスクアセスメント及び船内労働安全衛生マネジメントシステムについて資料の配布や安全講習会等にて講演を行い、その導入・普及を図った。

2. 安全衛生管理実務担当者連絡協議会の開催

第1回 7月28日、東京にて開催（参加者58人）

第2回 3月18日、神戸（東北地方太平洋沖地震のため中止）

第3回 3月23日、東京（東北地方太平洋沖地震のため中止）

3. 安全衛生教育に関する協力

会員及びその団体、船員養成機関その他が実施する船員の安全衛生教育に対して、講師の派遣、DVD等の貸し出し等により積極的に協力した。

一般会員へビデオ貸し出し 6本、 一般会員へDVD貸し出し 1枚

九州運輸局へビデオ貸し出し 2本

4. 船員の衛生及び健康管理の促進（（財）日本海事センター補助事業）

(1) 船舶に乗り組む衛生管理者の講習を実施する機関として、船舶に乗組む衛生管理者養成の円滑な対応を図るとともに、船員の衛生・健康相談に対する指導・助言を行った。

(2) ホームページ上で、船員の健康の維持と疾病の予防に関する情報を提供した。

(3) 重点事項の周知

船員の健康を確保する上で重点事項となっている次の事項について、ホームページまたはリーフレットを作成して、予防対策を周知徹底した。

① 生活習慣病の予防に伴うメタボリックシンドローム対策

② 石綿(アスベスト)による健康障害予防対策と船員健康管理手帳制度

③ 睡眠時無呼吸症候群対策

④ 新型インフルエンザ対策

5. 多発災害防止対策の周知

船員死傷災害の3分の1を占める「転倒」及び「はさまれ」、全死亡災害の2分の1を占めている「海中転落死」、これらの多発災害についてのリーフレットを作成し、船員労働安全衛生月間及び講習会等で配布し、予防対策を周知徹底した。

6. 技術指導援助等

(1) 「安全管理士及び衛生管理士による技術援助規程」に基づき、安全衛生に関する技術指導援助等を逐次実施した。

- ① 当協会主催の生存対策講習会の受講方法について
- ② S T C W条約に関連した「修了証書」の取得について
- ③ 季刊誌の内容（災害情報）の詳細について
- ④ 訓練手引書の監修について
- ⑤ 消火器置場の安全標識について
- ⑥ 訓練手引書の総練について
- ⑦ 練習船・旅客船の操練インターバルについて
- ⑧ 漁船員の講習会におけるK Y Tイラスト集の使用許可について
- ⑨ 船員に対する就業規則の有無について
- ⑩ 衛生管理者講習を開催するための手続きの仕方について
- ⑪ 航海中の食中毒の処置について
- ⑫ 当協会の頒布品以外での安全教育ビデオの有無について
- ⑬ MSDS に化学物質提供先の非常時連絡先について
- ⑭ 造水を飲料に使用する場合の問題点

(以上 1 /四半期)

- ① 安全衛生講習会の誘致方法について
- ② 当協会登録講習と各種安全衛生講習会の開催予定の問い合わせ
- ③ Safety Officer の講習及び修了証の入手方法について
- ④ 安全衛生旗の販売について
- ⑤ S O L A S条約における客船に搭載しなければならない高速救助艇の要目変更の有無について
- ⑥ 船舶での操練実施時のタオル保持・使用の根拠について
- ⑦ 安全担当者関連の技能講習の種類と実施場所について
- ⑧ 操練実施の重要性、緊急時の対応、安全運航ヒヤリハットについての教育DVDの入手方法について
- ⑨ 生存対策講習の参加方法
- ⑩ タンカー講習修了書の取り扱い（市役所）

(以上 2 /四半期)

- ① 衛生管理者（B）講習の日程調整について（海技試験口述との関連）
- ② 船員災害疾病のデータ集計について
- ③ 救命浮環の使用方法について
- ④ 安全帽の種類及び適用される法律について
- ⑤ キャプスタン取扱者の資格について
- ⑥ 蓄光安全標識のオレンジ色について
- ⑦ 危険物取扱責任者乙種を取得しなければならない職種について

- ⑧ 危険物取扱責任者甲種（機関部履歴）所持者が甲板部職員として乗船する為の要件について
- ⑨ 更新講習で更新できる資格について
- ⑩ 旅客船の長期停泊中における操練のインターバルについて
- ⑪ 訓練手引書最新版について

(以上 3/四半期)

- ① ダイヤル式水質検査機器について
- ② 乙種衛生用品表の乗組員数による積み込み数について
- ③ トラロープの認定品について
- ④ 船員の体力維持・体操・年齢別標準について
- ⑤ 液体アンモニア積載船のタンカー部類は石油・ガス・ケミカルのどれに当たるのか
- ⑥ 生存対策講習の日程・開催地について
- ⑦ 衛管講習の歴史について
- ⑧ 震災被害者で船員手帳が流出した者の更新講習受講について
- ⑨ 衛管（B）の為の履修証明における乗船実習部分関しての高専卒業後大学編入者に対する扱いについて

(以上 4/四半期)

(2) 船員災害防止に有効な保護具、機器類等の研究開発の促進を図るため、船員災害防止推進会の会員と技術の交流を逐次行うとともに、船員災害防止大会において、各種保護具の展示説明会を行った。

IV. 登録講習・試験事業

1. 安全衛生関係の資格取得講習会の開催

(1) タンカー安全担当者及び危険物等取扱責任者講習

タンカーに乗り組む船長等の危険物等取扱責任者の資格取得及び引火性液体類等を常時運送する船舶の甲板部安全担当者を対象とする講習

第 170 回 6 月 2 日～ 4 日 東京 受講者 6 人

第 171 回 2 月 21 日～23 日 東京 受講者僅少のため中止

(2) 危険物等取扱責任者の更新講習

危険物等取扱責任者の認定資格は、5年の更新制であり、石油、液体化学薬品及び液化ガスのそれぞれのタンカーについて5年間に1年以上の乗船履歴がない者は、更新講習の課程を修了することが必須となっている。

通信教育方式により随時行う更新講習 受講者 719 人

(3) 酸素欠乏の予防に関する危険作業講習

第24回 10月14日～15日 東京 受講者 7人

(4) 船舶に乗り組む衛生管理者講習

遠洋区域又は近海区域を航行区域とする総トン数3,000トン以上の船舶等に選任が義務づけられている。

衛生管理者登録講習(旧 船舶衛生管理者講習(A))

旧東京・神戸両商船大学並びに東京海洋大学(海洋工学部)及び神戸大学(海事科学部)の卒業生以外の者を対象とする講習

4月22日 船舶衛生管理者修了試験問題作成委員会開催

7月22日～8月24日 第26回気仙沼登録講習 受講者 17人

9月1日～10月1日 第27回東京登録講習 受講者 23人

計40名

船舶衛生管理者講習(B)

旧東京・神戸両商船大学並びに東京海洋大学(海洋工学部)及び神戸大学(海事科学部)の卒業生を対象とする講習

第14回 11月29日～12月8日 東京・横浜・神戸

受講者 : 東京 17人、 横浜 14人、 神戸 15人、 計46名

(5) 船舶料理士登録試験 ((財)日本海事センター補助事業)

遠洋区域または近海区域を航行区域とする船舶または第3種の従業制限を有する漁船であって、総トン数1,000トン以上のものに乗組む船舶料理士資格を取得するための試験である。

6月15日 第1回船舶料理士登録試験委員会開催

10月23日 東京栄養食糧専門学校において第3回登録試験実施 受験者10名

11月5日 第2回船舶料理士登録試験委員会開催

(6) 英文講習修了証明書の発給

協会が実施したタンカー安全担当者講習会及び危険物等取扱責任者の更新講習の受講修了者に対し、申請により英文修了証明書を発給した。

危険物等取扱責任者講習 2枚

危険物等取扱責任者の更新講習 185枚

V. 調査研究事業

1. 安全衛生実態調査

安全・衛生技術指導員等が訪船して実施した船舶の設備、作業・居住環境等の実態調査及び指導・助言を逐次行うとともに結果を集計・分析した。

2. 重大災害等発生時における調査

船舶において重大災害、特殊災害が発生した際、可能な場合は、安全管理士または衛生管理士を派遣して調査するが、22年度は発生しなかった。

VI. 収益事業

1. 安全衛生教育・普及資料の頒布

(1) 刊行物

衛生管理者教本、酸素欠乏、安全管理の指標、訓練手引書(和英併記)、船員安全手帳(和英併記)、船の飲用水、安全担当者記録簿、安全担当者記録簿(和英併記)、衛生管理者・衛生担当者記録簿、衛生管理者・衛生担当者記録簿(和英併記)、安全衛生チェックリスト、安全衛生チェックリスト(和英併記)、船員労働安全衛生規則、和英対訳船員労働安全衛生規則(図解)、船でつくる四季のメニュー、船内の安全を先取りしよう-リスクアセスメントの実務-、船内におけるヒヤリハット事例集、気づいていますか！熟練船員の過信と油断、なくそう漁船の災害(漁船災害防止の手引き…総集編)、なくそう！海中転落！推進しよう！作業用救命衣の常時着用、危険予知訓練で安全の先取りを -KYTイラスト集-、船員の多発災害を防ぐには -その傾向と対策-、安全衛生水準の向上を目指して!! -船内労働安全衛生マネジメントシステム導入による災害の犠牲を未然に防ぐ予防対策型の管理体制の構築-、からだにやさしい健康レシピ -生活習慣病・メタボ対策- (平成22年度刊行物)

(2) 安全衛生に関するDVD教材

- *漂流から生還へ(サバイバルトレーニング) *酸素欠乏 *内航船の危険予知
- *タンカーの静電気災害(第1部・第2部)
- *今日も元気に安全操業!(まき網・沖合底引き・まぐろ延縄・さんま棒受けの各漁業)

(3) その他

緑十字旗(サイズ70cm×100cm) 安全担当者バッジ 衛生担当者バッジ

(4) 販売数

合計 32 品目 4,073 点(DVD 19枚含む)

2. 受託事業

水産業・漁村活性化推進機構受託：漁船安全操業対策事業(小型漁船サバイバル訓練)

支部と協力して漁船員に対しての救命筏の展張、救命胴衣及び浮力補助具の常時着用と海中転落時の救助方法に関する講習を5回実施した。

支部事業

I. 船員労働安全衛生月間の推進事業

1. 船員労働安全衛生月間の推進（国庫補助事業）

各支部及び地区支部は、地方または地区の安全衛生協議会等とともに月間の推進母体となって、月間運動用品等の配布、無料健康相談所の開設、訪船指導、特別講習会等の開催等により、船員災害防止の意識の向上と効果的かつ積極的な月間活動を行っており、全国の支部及び地区支部において各運輸局等関係機関と訪船指導や船員災害防止大会、ポスターの掲示等を行った。

2. 船員災害防止大会の開催

各支部または地区支部において、船員災害防止大会を開催し、船舶所有者及び船員の意識の向上に努めた。

北海道支部 … 8月26日 釧路市 88人	東北支部 … 9月7日 塩釜市 75人
北陸信越支部 … 9月9日 新潟市 66人	関東支部 … 9月10日 横浜市 123人
中部支部 … 8月27日 敦賀市 70人	
近畿支部 … 8月27日 舞鶴市 49人、8月30日 大阪市 81人	
神戸支部 … 9月1日 神戸市 73人、9月1日 姫路市 34人	
中国支部 … 9月3日 広島市 90人、9月13日 周南市 65人、9月14日 尾道市 93人、 9月16日 倉敷市 40人、9月17日 松江市 45人	
四国支部 … 9月7日 高松市 97人	九州支部 … 9月9日 鹿児島市 241人
沖縄支部 … 9月2日 那覇市 100人	

合計 17ヶ所 参加者 1,430人

3. 安全衛生保護具及び機器類等の展示会の開催

各支部または地区支部の船員災害防止大会の開催時等に、安全衛生保護具、作業用救命衣、各種検知器具等を展示するとともに説明会を開催し、その普及に努めた。

4. 船員労働安全衛生功績者の推薦

船員の安全の確保または船内衛生の向上に尽力し、その功績が極めて顕著な会員、団体並びに会員に所属する船舶及び個人を表彰するために、各支部・地区支部より功績のあった会員・団体及び個人の推薦を行った。

5. 支部事務局長の船員労働安全衛生月間行事等打合せ会議（国庫補助事業）

4月15日～4月16日、各支部事務局長を本部に招集して、平成21年度の船員労働安全衛生月間行事等実施結果についての総括と、今年度の同月間行事を含む支部事業計画打合せのための会議を東京にて開催した。（参加者22人）

II. 広報事業

1. 船員災害防止協会優良会員の推薦

前年度においてゼロ災害に努力し、協会活動に積極的な会員を、単年度ごとに「優良会員」として認定するために、各支部・地区支部よりふさわしい会員を推薦した。

III. 安全衛生教育及び技術指導事業

1. 安全衛生講習会（国庫補助事業）

以下の安全衛生関係講習会は、経費削減及び実効をあげるため同時開催でも行った。

(1) 船舶火災消火講習

内航タンカーの乗組員に対しての、消火訓練(粉末消火器の取扱い、放水等)及び救急訓練(応急措置、心肺蘇生等)についての講習会を岸壁上において開催している。

(2) 安全講習

中小船舶の船員並びに船舶所有者等を対象の、海中転落、転倒、はさまれ、転落・墜落の防止、保護具等の保管及び使用の励行、船舶火災の防止等、船内における安全管理についての講習会を開催している。

(3) 衛生講習

各業種の船舶の船員を対象の、船内衛生の保持、中高年齢船員の疾病予防、生活習慣病予防とメタボリックシンドローム対策、エイズ予防、メンタルヘルスケア、AEDの使用方法、応急処置等の講習会を開催している。

(4) 酸素欠乏講習

各業種の船舶の船員等を対象の、酸欠の原因、酸欠事故防止対策及び酸素濃度測定器、空気呼吸器等の使用方法等の講習会を開催している。

(5) 飲用水管理講習

船舶の飲用水は、未だ不適の船舶が少ない実態を踏まえて、飲用水の管理担当者のもとより乗組員全員を対象にした飲用水補水上の注意、汚染原因、水質検査及び消毒方法等、平素の管理に重点をおいた講習会を開催している。

(6) 漁船安全衛生講習

主として中小の漁船事業者、船長、漁労長、その他乗組員を対象とした、海中転落、転倒、挟まれ、転落・墜落、船舶火災への対応策、保護具等の使用の励行等、安全衛生管理体制の確立、管理者の役割等についての、漁船の基地における講習会を開催している。

北海道支部	…	3回	295人	東北支部	…	10回	470人
北陸信越支部	…	1回	66人	関東支部	…	7回	240人
中部支部	…	4回	148人	近畿支部	…	6回	342人
神戸支部	…	4回	236人	中国支部	…	14回	440人
四国支部	…	3回	105人	九州支部	…	11回	372人
沖縄支部	…	1回	61人				

(以上 1・2・3・4/四半期) 合計 64回 2,775人

2. 生存対策講習会（国庫補助事業）

船舶遭難時における生存を図るための教育訓練を行うことを目的とし、汽船・漁船部門の船員、船舶所有者その他海事関係者を対象として、座学及び膨張式救命筏、作業用救命衣等を用いた実技と取扱い方法等についての講習会を全国から適宜選定した港において開催した。

北海道支部	…	7月23日	留萌市	46人	
中部支部	…	9月8日	名古屋市	70人	
神戸支部	…	9月3日	神戸市	129人	（神戸大学と共催）
中国支部	…	7月28日	岩美町	35人	
四国支部	…	9月9日	今治市	110人	
九州支部	…	8月10日	佐賀関	92人、	9月28日 下関市 35人
		10月18日	長崎	114人	（旅客船協会と共催）
					合計8回 631人

3. 睡眠時無呼吸症候群による事故防止の推進

睡眠時無呼吸症候群（SAS）による事故防止の注意喚起を行うとともに、船員の日頃からの健康管理の推進を継続した。

4. 安全衛生教育に対する協力

会員、その団体または船員養成機関等が実施する船員の安全衛生教育に対して、支部または地区支部も協力し、DVD等の貸出を行うとともに、資料の提供等を行った。

神戸支部	…	4月～23年3月	神戸運輸監理部へビデオテープの貸出	12本
中国支部	…	10月～11月	ビデオテープ貸出	2本
九州支部	…	11月	九州運輸局へ教育資料等提供	2冊
近畿支部	…	10月	一般会員へ講習会講演資料（パワーポイントUSB）貸出	2本
		3月	一般会員へビデオ貸出	6本、資料提供 6冊
四国支部	…	10月	一般会員所属団体へP/C及びプロジェクター貸し出し	1件
沖縄支部	…	2月	労務官事務所へビデオ3本貸出	

5. 技術指導・援助

（1）訪船安全・衛生技術指導（（財）日本海事センター補助事業）

主として船員災害の発生率の高い中小船舶の在港時において、安全技術指導員または衛生技術指導員が訪船して、訪船技術指導票（チェック・リスト）に基づく安全または衛生のチェックを行うとともに、指導・助言及び情報の提供を行った。

北海道支部	…	35回	70隻	東北支部	…	39回	60隻
北陸信越支部	…	6回	7隻	関東支部	…	38回	66隻

中部支部	…	22回	37隻	近畿支部	…	67回	92隻
神戸支部	…	26回	45隻	中国支部	…	52回	90隻
四国支部	…	65回	90隻	九州支部	…	71回	109隻
沖縄支部	…	14回	30隻				
				合計		435回	696隻

IV. 調査研究事業

支部の所管区域内で発生した重大災害等について、可能な場合は、関係者から情報収集等を行うが22年度は発生していない。

V. 受託事業

1. 水産業・漁村活性化推進機構受託

漁船安全操業対策事業（小型漁船サバイバル訓練）

本部にて受託した漁船員に対する救命筏の展張、救命胴衣及び浮力補助具の常時着用と海中転落時の救助方法についての講習を本部と協力し開催した。

東北支部	…	7月12日	宮古市	139人	
神戸支部	…	7月17日	津居山	106人	
東北支部	…	8月5日	石巻市	111人	
沖縄支部	…	8月17日	那覇市	41人	
関東支部	…	8月23日	銚子市	50人	合計 5回 447人

VI. その他の活動

1. 会員加入の促進

各支部において、所管区域内の未加入船舶所有者等に、パンフレット等を活用して積極的に新規会員の加入促進に努めた。

2. 委員会の運営

(1) 支部運営委員会の開催

北海道支部	…	札幌市	16人	東北支部	…	仙台市	14人
北陸信越支部	…	新潟市	23人				
関東支部	…	横浜市	20人	中部支部	…	名古屋市	15人及び14人
近畿支部	…	大阪市	15人	神戸支部	…	神戸市	10人
中国支部	…	広島市	13人	四国支部	…	高松市	16人
九州支部	…	北九州市	20人	福岡市	19人		
沖縄支部	…	那覇市	15人	x2			

(2) 地区支部運営委員会等の開催

- 東北支部 … 気仙沼市 14 人、塩釜市 14 人
関東支部 … 横須賀市 17 人
中部支部 … 名古屋市 13 人、四日市市 8 人及び 7 人、敦賀市 6 人、下田市 12 人、
焼津市 9 人、鳥羽市 12 人
近畿支部 … 舞鶴市 13 人 x 2、和歌山市 15 人 x 2、那智勝浦町 8 人
中国支部 … 呉市 15 人及び 22 人、境港市 21 人及び 23 人、周南市 16 人及び 20 人、
松江市 15 人、広島市 20 人、尾道市 25 人、因島市 14 人、木江町 12 人、
大崎上島町 9 人
四国支部 … 高松市 15 人、徳島市 12 人、新居浜市 35 人、高知市 11 人、
松山市 19 人、宇和島市 10 人
九州支部 … 宮崎市 17 人、佐世保市 15 人、北九州市 15 人、下関市 16 人、
福岡市 17 人、鹿児島市 15 人、宇城市 10 人、長崎市 12 人、
大分市 15 人、唐津市 14 人

3. 船員災害防止連絡会議への協力

各運輸局（神戸運輸監理部及び沖縄総合事務局を含む。）で四半期ごとに開催される船員災害防止連絡会議に協力した。

- 北海道支部 … 小樽市 17 人
東北支部 … 仙台市 19 人、石巻市 21 人
関東支部 … 横浜市 35 人
近畿支部 … 大阪市 28 人
神戸支部 … 神戸市 22 人

(以上 1/四半期)

- 東北支部 … 八戸市 46 人、仙台市 18 人、小名浜市 30 人、石巻市 19 人、
秋田市 11 人
北陸信越支部 … 新潟市 21 人
中部支部 … 名古屋市 25 人
中国支部 … 萩市 15 人、広島市 16 人
九州支部 … 福岡市 10 人
関東支部 … 横浜市 35 人
近畿支部 … 大阪市 26 人
四国支部 … 高松市 3 人
沖縄支部 … 那覇市 45 人

(以上 2/四半期)

- 北陸信越支部 … 新潟市 18 人
北海道支部 … 小樽市 17 人
関東支部 … 横浜市 35 人
東北支部 … 仙台市 16 人
沖縄支部 … 那覇市 15 人

(以上 3/四半期)

- 近畿支部 … 大阪市 43 人
神戸支部 … 香美町 13 人

(以上 4/四半期)

4. その他

- 北海道支部 … 小樽地方船員労働安全衛生協議会総会出席、講習会打合せ
小樽地区安全衛生協議会出席、運輸局との打合せ会議出席
北海道物流経済フォーラム出席、地区支部打合せ、船員災害疾病発生
状況報告書作成配布
- 東北支部 … 気仙沼塩釜地区機関誌「安全と衛生」発行、講習会打合せ
気仙沼地区機関誌「災害と防止」発行、運輸局との打合せ会議出席
海難防止強調運動推進連絡会議出席、海の日式典出席、海難防止研修
会出席
- 北陸信越支部…船員災害疾病発生状況報告資料作成配布
- 関東支部 … 船員慰霊祭出席、運輸局との打合せ会議出席（月間含む）、地区協議
会打合せ、海の月間訪船慰問に参加、横浜地方船員労働安全衛生協議
会出席（事前打合せ含）、訪船指導員打合せ、地区支部打合せ、漁協
関係者打合せ 船員災害疾病発生状況報告書作成配布
- 中部支部 … 海難防止連絡会議出席、講習会打合せ
海事関係情報連絡会議出席、船員災害疾病発生状況報告書作成配布
- 近畿支部 … 講習会打合せ、
- 神戸支部 … 船員災害疾病発生状況報告資料作成配布
神戸及び姫路地方船員労働安全衛生協議会総会出席
神戸及び姫路地区船員労働安全衛生月間報告会出席
船員労働安全衛生月間実施報告書作成配布
安全衛生の手引き作成配布
平成 23 年度船員災害防止実施計画配布
- 中国支部 … 広島地方船員労働安全衛生協議会総会出席
船員労働安全衛生月間反省会議出席
船員災害疾病発生状況報告書作成配布
- 四国支部 … 訪船安全パトロール（新居浜港にて 42 隻）
関係団体との講習会等打合せ
- 九州支部 … 船員安全衛生推進会統括幹事会出席
船員労働安全衛生推進会統括幹事会出席
船員災害疾病発生状況報告書作成配布
- 沖縄支部 … 海の日式典出席、講習会打合せ、船員災害疾病発生状況報告書作成配布

以上